

2026 年 7 月 17 日

TOPPAN 株式会社

株式会社アイオイ・システム

TOPPAN イクイップメント株式会社

TOPPAN グループ、「国際物流総合展 2026」に出展

物流関連法改正への対応や現場の人手不足解消など、
物流業界における課題解決を各種 DX ソリューションで包括的に支援

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:野口 晴彦、以下 TOPPAN)、株式会社アイオイ・システム(本社:東京都品川区、代表取締役社長:吉野 豊、以下 アイオイ・システム)、TOPPAN イクイップメント株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:都丸 泰治、以下 TOPPAN イクイップメント)の3社は、2026 年 9 月 8 日(火)から 11 日(金)に開催される「国際物流総合展 2026」(会場:東京ビッグサイト)に出展します。

TOPPAN グループブース(西 1 ホール、小間番号 W1-Q08)では、「『モノ×コト×コンサルティング』の融合で実現する、伴走型物流 DX ソリューションの提供」をコンセプトに展示を行います。物流関連法改正(※1)への対応や、現場の人手不足解消、業務負荷の低減など、様々な物流現場の課題解決に向けたソリューションを紹介します。

**■ 主な展示内容**

- ・ 物流現場の課題解決を伴走型で支援する「物流業務診断」

物流の実務経験を持つコンサルタントが顧客の業務フローを詳細に分析し、課題抽出から改善策の立案、費用対効果の試算、現場での運用まで伴走型で支援します。ブース内では、物流コンサルタントによる個別相談を実施し、来場者の物流業務の見える化や業務効率化をサポートします。

・法令対応をサポートする「輸送動線管理 DX」

物流関連法の改正に伴って義務化されたトラック車両の「荷待ち・荷役時間」(※2)の把握・管理を、LPWA(※3)を活用した位置測位デバイス「ZETag®」や倉庫の動線を可視化する「ID-Watchy®」、画像認識技術の活用により正確にデジタル化します。また、倉庫内においても同様に、産業用車両として稼働するフォークリフトの動線を可視化・分析し、作業人員や車両台数の最適配置が可能になります。走行距離の短縮による業務効率化に加え、不要な走行を抑えることで CO2 排出量の削減といった環境負荷低減にもつながります。

・人員配置と業務指示を最適化する「作業管理 DX」

表示内容を非接触通信 (NFC) で書き換えることができる「見える RFID スマートタグ」を活用し、作業現場の入り口および出口に設置した RFID リーダーで作業者の入退場を自動で読み取り、取得情報をシステム連携します。これにより、作業者の動きをデジタル管理するとともに、資格保有状況や業務に対する習熟度などの情報と組み合わせて分析することで、現場の状況に応じた人員配置計画の迅速な立案や、タグを通して作業員個人への的確な作業指示を実現します。継続的な人員配置の最適化を支援し、管理者の負荷軽減にもつながります。

・仕分けや搬送の省人化を推進するセミオートメーション(半自動化)ソリューション

アイオイ・システムの自動仕分けシステム「立体型仕分けソーター」は、仕分け対象に応じた柔軟な設計が可能のため、現場ごとに最適な運用を実現します。また、ニーズが高まるピースピッキング(※4)工程へのアームロボット活用など、工場や物流拠点の業務をセミオートメーション(半自動化)するソリューションの提案により、省人化と事業継続を支援します。

・サードパーティー(第三者委託)保守サービス

各種メーカーの代行として、機器の安定稼働を維持するための予防保守をはじめ、設置や操作説明、修理対応まで、包括的な保守サービスを提供します。TOPPAN イクイップメントの全国にわたる保守サービス拠点を活かし、迅速で確実な対応を実現します。

■ セミナー情報

セミナータイトル	「物流・製造業の現場診断と DX で導く倉庫改革と仕分け・ピッキング意思決定術」
日時	2026 年 9 月 9 日 (水) 13:00～13:30 (予定)
会場	東 3 ホール C 会場 (予定)
内容	人手不足や法改正に直面する物流部門関係者に向け、部分最適に陥らないスマート化の道筋を提示します。本セミナーでは、TOPPAN の「コンサルティング」による「物流業務診断・データとオペレーションの整流化」、最適なマテリアルハンドリングによるセミオートメーションの融合を解説するとともに、激変する環境下で、最適解を導くアプローチや具体的事例を紹介します。
登壇者	・TOPPAN 株式会社 情報ソリューション BU IoT ソリューション事業部 久我 典史 ・株式会社アイオイ・システム 営業本部 海老原 啓介
参加費	無料
参加方法	事前登録不要、先着順

※セミナー内容は変更の可能性があります。

■ 開催概要

名称：第 17 回 国際物流総合展 2026 (Logis-Tech Tokyo 2026)

会期：2026 年 9 月 8 日(火)～9 月 11 日(金) 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)

(TOPPAN グループブース：西 1 ホール、小間番号 W1-Q08)

主催：一般社団法人 日本産業機械工業会/一般社団法人 日本産業車両協会/一般社団法人 日本パレット協会/一般社団法人 日本運搬車両機器協会/一般社団法人 日本物流システム機器協会/公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会/一般社団法人 日本能率協会

公式サイト：<https://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/ltt/>

TOPPAN グループ特設サイト：https://solution.toppan.co.jp/seminar/detail/logistics_260908.html

※1 物流関連法改正：

正式には、「物資の流通の効率化に関する法律」の改正。物流の「2024 年問題」への対応を目的として、物流総合効率化法(流通業務総合効率化法)と貨物自動車運送事業法を改正した一連の法改正です。荷主・物流事業者・物流施設管理者などサプライチェーン全体に対し、物流の効率化や適正な取引を促すことを目的としています。2026 年 4 月に物流効率化法が全面施工され、一定規模以上の対象事業者のうち、「特定荷主」「特定連鎖化事業者」に対して物流統括管理者(CLO:Chief Logistics Officer)の設置が義務付けられていました。

※2 荷待ち・荷役時間：荷待ちはドライバーが物流拠点に到着してから、荷物の積み込みなどの作業が始まるまでに待機する時間を指し、荷役は実際にトラックへ荷物を積み込んだり、荷物を降ろしたりする作業にかかる時間を指します。どちらもドライバーの拘束時間として問題視されています。

※3 LPWA(Low Power Wide Area)：少ない消費電力で長距離の通信が可能で、超狭帯域による多チャンネル通信、メッシュネットワークによる広域での分散アクセス、双方向での低電力通信が可能といった特徴を持つ、IoT 向けの無線通信技術。

※4 ピースピッキング：倉庫などの在庫から、商品の最小単位(1 個、1 本、1 枚など)で指定された品物を集め出す作業のこと。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上